



9月のほけんだより



明德保育園
令和6年8月30日発行



暑さもやわらぎ、外遊びの時間が増えてくると、小さなケガも多くなります。9月9日は「救急の日」です。この機会にお家の救急用品の中身を見直したり、救急処置の方法も学んでおきましょう！

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがケガをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直しましょう！

1 「ダメ！」「危ない！」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



2 一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



3 大人もいっしょにやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。



救急箱の中身、チェックしてますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回中身をチェックしましょう！

CHECK!

絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。

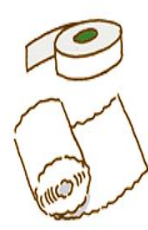


体温計



ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



生活リズムの見直し



夏休みの間に眠る時間が遅くなったり、食事の時間が不規則になったりしていませんか？かぜを引かない強い体をつくるために生活リズムを見直しましょう。

★早起きをし、余裕をもって、朝ご飯、歯みがき、トイレを済ませる(朝食は必ず食べましょう)

★シャワーだけでなく、ゆっくりとお風呂に入る

★早寝を心がけて睡眠をしっかり取る

★顔色や食欲など、普段から健康観察を細かく行う

9月の保健行事

- 0歳児健診 : 18日(水)
- シラミ検査 : 18日(水)
- 乳児身体測定 : 18日(水)
- 幼児身体測定 : 19日(木)

※10/24(木)全園児内科健診を行います。

8月の感染症等の発生状況

- 伝染性膿痂疹(とびひ) : 7名
- アデノウイルス : 1名
- 溶連菌 : 1名

*感染症と診断を受けた時は、園にお知らせください。